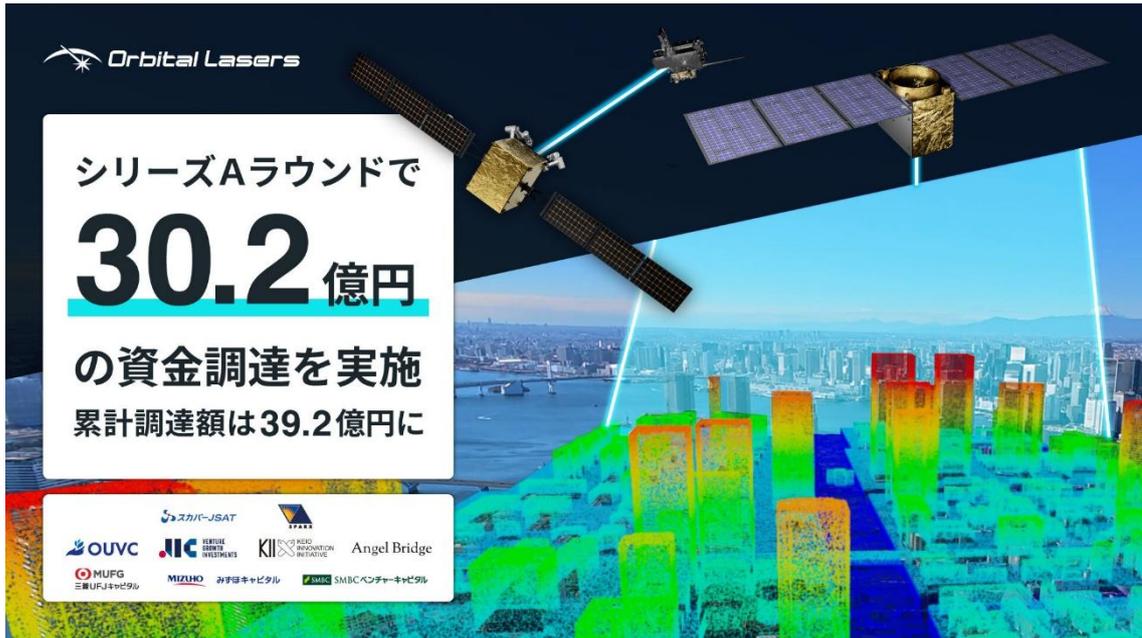


PRESS RELEASE

2026年3月19日  
株式会社 Orbital Lasers

Orbital Lasers、シリーズ A ラウンドで 30.2 億円を調達  
～衛星レーザー技術の確立を加速し、宇宙大航海時代の未来をきり拓く～

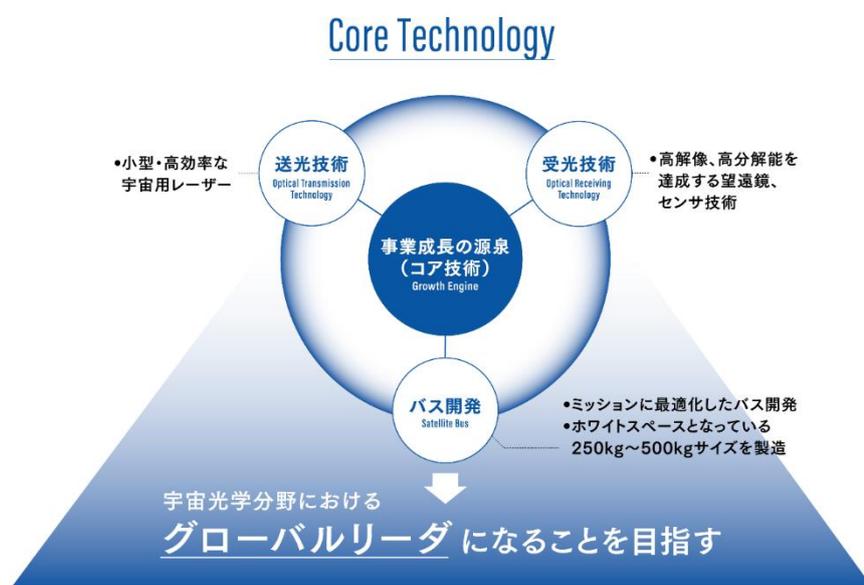


革新的な宇宙用レーザーを中核とした宇宙光学技術を開発する株式会社 Orbital Lasers（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：福島 忠徳、以下「当社」）は、シリーズ A ラウンドとして第三者割当増資及び J-KISS 型新株予約権の発行により 30.2 億円の資金調達を実施いたしました。これにより、シードラウンドからの累計エクイティ調達額は 39.2 億円となります。

当社は、2024 年 1 月にスカパー J S A T からのカーブアウトとして創業以来、世界最高水準の「高出力・小型・高効率」を実現する宇宙用レーザーの開発に取り組んでまいりました。2024 年 12 月にはシードラウンドにて総額 9 億円の資金調達を実施し、理化学研究所との共同研究成果を基盤に、宇宙用レーザーの高出力化・小型化に向けた研究開発に加え、人材採用および事業化準備を一層加速してきました。また、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）とは、研究開発契約のもと、世界的にも先進的な小型の高度計ライダー衛星の概念設計およびミッション部の試作を進めております。さらに、防衛省とは 2025 年 11 月に「軌道上での自国衛星の監視・防御技術に関する研究（測距）」に係る契約を締結し、宇宙空間における測距を目的とした宇宙用レーザー技術等の研究開発にも着手いたしました。

今回のシリーズ A では、宇宙用レーザーの送光技術の高度化を中核に、高解像・高分解能を実現する受光技術、ならびにミッションに最適化した衛星バス技術の確立を推進します。これら3つのコア技術を統合的に開発することで、システム全体としての技術的競争優位性を強化し、衛星ライダーによる高精度地形計測、レーザーによる安全かつ効率的なスペースデブリ除去・制御など民間として世界初の事業を実現してまいります。

当社は、これらの技術開発及び事業化を通じ、2030年代には宇宙光学分野におけるグローバルリーダーとなることを目指します。



## ■ Orbital Lasers コンセプトムービー



<https://www.youtube.com/watch?v=QXpj1vqgKGk>

## ■ 資金調達概要

調達金額：30.2 億円

調達方法：第三者割当増資及び J-KISS 型新株予約権

引受先一覧（順不同）：

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ

Angel Bridge 株式会社

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社

三菱 UFJ キャピタル株式会社

みずほキャピタル株式会社

SMBC ベンチャーキャピタル株式会社

スカパー J S A T 株式会社

## ■ 代表取締役 CEO 福島 忠徳からのコメント

「このたびのシリーズ A ラウンドにご参画いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。弊社は 2024 年 1 月の創業から 2 年が経過いたしました。これまでに理化学研究所との共同研究を通じて、宇宙用レーザーによる送光技術の獲得を進めてきました。本ラウンドでは、送光・受光・衛星バス技術それぞれを深化・拡張し、システムとして高度なミッションを達成できる基盤を確立します。その成果をグローバル市場で競争力のある事業へと発展させてまいります。投資家の皆様のご信頼に心から感謝するとともに、地球から宇宙空間まで多岐にわたる課題の解決に向けて引き続き挑戦してまいります。」

## ■ シリーズ A に参画いただいた投資家からのコメント（順不同）

**スパークス・アセット・マネジメント株式会社 次世代成長投資部 ヴァイス・プレジデント 江部 元一朗様**

「同社は世界的にも非常に高い効率を誇る宇宙用レーザー技術を有し、それを核に世界でも類を見ない衛星開発の実現を目指しています。その確かな技術力と世界を目指す姿勢に大きな可能性を感じ、当社としてもビジョンの実現に向けた成長を支援したいと考え、出資を決定しました。本ラウンドを通じて事業がさらに加速し、日本にとどまらずグローバルで戦える企業へと成長されることを期待しています。」

**JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社 ベンチャーキャピタリスト 岸村 俊哉 様**

「宇宙用レーザーという基盤技術の確立は、日本の宇宙産業の競争力を強化する重要な挑戦です。小型・高効率化を通じて要素技術から衛星システムへと発展し、宇宙利用を支える中核技術を確認することで、宇宙インフラの高度化に貢献することを期待しています。」

**株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ シニアアソシエイト 奈良崎 翔太 様**

「観測衛星のフロンティア領域である衛星ライダー事業等に挑戦する Orbital Lasers は、卓越したレーザー技術と官民を巻き込む事業推進力を有するスタートアップです。今後も日本及び世界の社会課題解決に貢献する同社の事業成長を支援してまいります。」

**Angel Bridge 株式会社 パートナー 林 正栄 様**

「理研とスカパーJ S A Tの知見を結集し、世界最高水準のレーザー開発に挑む Orbital Lasers。既に公的機関から大規模な研究・開発案件を受託するなど実力は折り紙付きです。拡大する安全保障需要も追い風に、日本発の宇宙インフラ創出に挑戦する同社を支援できることを誇りに思います。」

**大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社 投資部 アソシエイト 土井 利浩 様**

「Orbital Lasers 社のライダー衛星は地表変化を高頻度・高精度に捉え、防災やインフラ維持管理、環境監視の意思決定を革新する新たな宇宙インフラになり得ます。日本発グローバル企業としての中期的な成長に期待し、伴走して支援してまいります。」

**三菱 UFJ キャピタル株式会社 投資第四部 副部長 宇野 毅 様**

「Orbital Lasers 社が開発を目指すライダー衛星は、宇宙ビジネスにおいて新たな価値を創造し、我が国のみならず、広く世界に安全で豊かな未来をもたらしてくれるものと期待しております。弊社は MUFG の一員として、本プロジェクトに関わる皆様と共に同社の挑戦を応援して参ります。」

**みずほキャピタル株式会社 投資第6部 インベストマネージャー 熊田 彬人 様**

「当社の宇宙用レーザー技術・それを社会実装へ導けるチームが魅力的なため投資を致しました。本領域は技術難易度が高く、挑戦できるプレイヤーに限られる中、当社は社会実装に向け「技術力&事業化力」を兼ね備えていると確信しており、弊社も全力でご支援したく存じます。」

**SMBC ベンチャーキャピタル株式会社 投資営業第二部長 山内 心吾 様**

「シードラウンドに続きシリーズ A でも追加投資をさせていただきました。着実にチームが拡大しており、大型案件も受注、今回のラウンドで心強い支援者を多数迎えるなど、ますます期待が高まります。宇宙産業の新たな未来を切り開く Orbital Lasers の挑戦を、引き続き応援いたします。」

**スカパーJ S A T株式会社 取締役執行役員常務 宇宙事業部門長 山下 照夫 様**

「多様な経験を持つ投資家が参画した本ラウンドは、Orbital Lasers の成長を力強く後押しするものであり、その歩みを加速させるものと期待しています。スカパーJ S A Tは、戦略パートナーとして同社との連携を一層深化させ、シナジー創出を通じて、Orbital Lasers の中長期的な価値向上をともに目指してまいります。」

**■ 株式会社 Orbital Lasers 会社概要**

概要 小型・高効率な宇宙用レーザー技術を開発し、衛星ライダー事業やスペース  
デブリ除去事業をはじめとする宇宙事業を展開する事業会社

設立 2024年1月

所在地 東京都港区赤坂1-8-1

代表者 代表取締役 CEO 福島 忠徳

URL <https://www.orbitallasers.com/>

**■ 本件に関するお問合せ先**

株式会社 Orbital Lasers 担当：加藤、後藤

Mail： [pr@orbital-lasers.com](mailto:pr@orbital-lasers.com)